

会長	松淵公明	(大内中学校)
副会長	菊地邦彦	(西目小学校)
事務局	山下奈知	(本荘南中学校)
	宮田幸江	(尾崎小学校)
研究部長	関口琢也	(金浦小学校)
会計	須田秀二	(仁賀保中学校)

大森山会計須田秀二 (仁賀保中学校)	造形部研修会 12 / 14
本荘由利図工・美術の学び展 11 / 18 ~ 11 / 20	夏季研究集会への参加 7 / 28

1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の表現がどうあるべきかを考察すること、また、夏季研究集会・本荘由利図工・美術の学び展・県児童生徒美術展など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標とした。

特に、本荘由利図工・美術の学び展は各校の造形活動の取り組みを紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。昨年度から展覧会名を一新し、名札に作者の思いを入れて掲示するようにした。また、「豊かな学び」という児童生徒の思いが活かされた表現の選出を通して、子どもの表現の見方や造形活動の在り方について研修する活動の意義は大きい。

2. 各事業の成果

(1) 夏季研究集会への参加 (7月28日)

本荘由利教育研究会造形部夏季研究集会では、秋田県造形教育研究会による「造形セミナー」に参加した。実践発表では、4人の先生方の発表を聞き、他校種や他地区の取組について知ることができた。

またワークショップでは、4つのグループに分かれて活動し、今後の授業に役立てていけるような学びを得る機会となった。

(2) 造形部研修会 (12月14日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する審査会として行った。26年度から立体作品の審査も行っているが、各校の出品数を事前に報告してもらうことで審査時間を短縮することができた。造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向・良さ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得る機会となった。

また、今年度も審査で選出された作品を、秋田市文化創造館にて展示することができた。

(3) 本荘由利図工・美術の学び展 (11月18日～11月20日)

由利本荘市文化交流館「カダーレ」で開催した。テーマである「あっ、いいこと考えた」を反映した個性豊かな表現が数多く見られた。カダーレを会場として実施するのは12回目ということで、3日間で1500名弱の来場があり、多くの方々に見ていただけた。

出品作品の中から造形部が目指す表現を「豊かな学び」として選出した。各小中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取り組みと各校の協力で、運営面・作品の内容ともにより充実した美術展となった。

来年度も、本荘由利図工・美術の学び展が新学習指導要領の趣旨に則った研修の場となるように協議を重ねていき、具体的な取組を各校に発信していく予定である。